

## 研究紀要の発刊に寄せて

校長 大塚 忠 巳

「学校の基本は授業」。校長就任以来、教職員と生徒に呼びかけ続けてきました。「分かる授業の工夫」は、今年度も本校の重点目標であるだけでなく、教師にとって、絶えず追求し続けなければならない基本事項と考えています。

「分かりやすい授業」の構築に向けて、今年度は、「発問の工夫」と「一時間完結型授業」を念頭に「指導主事招聘研究授業」、「外部講師招聘研究授業」及び「互見授業」に力をいれて取り組みました。「指導主事招聘研究授業」では全ての教科で指導主事をお招きし、指導・助言をいただきました。また、英語科で「外部講師招聘研究授業」を計画し、石黒先生を2度お招きし、授業指導・講演・模範授業を通して研鑽を深めました。更に「互見授業」では、教師全員が他の教師の授業を参観し、参考になった点や疑問点・改善点を整理し確認し合う取組を行いました。これらの取組は来年度も継続し、更に「分かりやすい授業の工夫」に全員で取り組みたいと考えています。

また、キャリア教育部では、昨年度、これまでの本校の様々な取組を「学習意欲の向上」、「目的意識の向上」、「人間性の向上」の「3つの向上」にまとめました。何を狙いとしてどのような方法で取り組むのかを整理し、生徒に説明し、各教室に掲示し、生徒の意識付けを図るとともに、今年度、更なる内容の充実に努めて来ました。

この度、これらの取組の一部を研究紀要の形で掲載いたしました。是非、多くの教育関係者の方々にご一読いただき、忌憚のないご意見ご批判を賜れば幸いです。